ソニー・太陽株式会社

インクルージョン・ワークショップ

↑音が鳴った瞬間に、驚きの表情を見せたお子さん

開催日　：2019年8月7日　開催地：別府北部地区公民館
主　催　：ソニー・太陽株式会社／後援：公益財団法人ソニー教育財団
参加者　：別府北部地区公民館周辺の小学生　22名
指導員　：ソニー・太陽株式会社　5名

ソニー・太陽は、全社員の約70パーセントを障がいのある社員が占めるソニーの特例子会社でソニー圏では国内におけるマイクロホン基幹工場です。インクルージョン・ワークショップとは、障がいのあるなしに関係なく、ダイバーシティー＆インクルージョン（一人ひとりの違いを個性として尊重し、お互いを許容する事で、新しいものを生み出す力にすること）を体験することにより、相互理解を深め、またソニー・サイエンスプログラムの主旨でもある科学を学び、論理性、好奇心、創造力を育むことにもつながるソニー・太陽の特色を生かしたプログラムです。今回はペットボトルと牛乳パックで作るヘッドホンに挑戦して頂きました。

輪ゴムとマジックを使って切る位置の目印を書いています。

振動板になる、ペットボトルの底を切る為に使用する型紙シールを切っています。

一部難しい作業がありますので、低学年は親子での共同作業になります。

徐々に形になってきて、保護者の指導にも熱が入ります。

ウォークマンを使った試し聞きは、子ども達の努力が報われる瞬間です。
その後、作ったヘッドホンの仕組みや音についてのお勉強をおこないました。

みんなで一緒に記念撮影！